

《料理復活王 07》

图书基本信息

书名：《料理復活王 07》

13位ISBN编号：9789861111803

10位ISBN编号：9861111808

出版时间：2002-11-28

出版社：台灣東立出版社

作者：土山しげる

页数：196

版权说明：本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介以及在线试读，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com

《料理復活王 07》

内容概要

「週刊漫画ゴラク」にて連載。『喧嘩ラーメン』に続くグルメに題材をとった作品である。副題に「B級グルメ店復活請負人」とあるとおり、主人公である「北方歳三」（きたかたとしぞう）がラーメン屋や洋食屋などの一流、高級レストランとはいえない庶民向けの飲食店を再建するストーリーである。本作の特徴として、北方は料理人に対して単に料理のトレーニングや客寄せとなる料理を教えるのではなく、一見料理とは無関係の特訓をさせることにある。北方はこれを「修業」と称している。修業の例を以下にあげる。

カレーライスに小学校の調理師

オムライスにジョギング

親子丼に卓球

餃子にホテルのベルボーイ

うどんにダンスダンスレボリューション

ハンバーグに力士部屋でマッサージ

お好み焼きにカラオケボックスでスーダラ節を何度も歌わせる

駅弁にパラグライダー

ラーメンにサーカスのナイフ投げ

おにぎりに京都の寺で修行させ鬼の特殊メイクで驚かす

これら意味不明の修業を強制された料理人は、「なんでこんな事を?」と尋ねるが、それに対して北方は「一切の質問は許さん!!」と答えるのがパターンになっている。

また、本作の前半では物語は基本的に区切り（再建する店）ごとでほぼ完結していて、北方以外にはレギュラーとなるキャラクターがないのも特徴である。ある意味主人公は料理人で、北方は狂言回しともいえる。このような構成は「刑事コロンボ」における、犯人とコロンボの関係に似ていなくもない（犯人＝料理人、コロンボ＝北方）。

後半からは北方が幾多の料理人と様々な料理対決を行うようになる。最初は自らの腕に自惚れていたり、利益のことしか考えていない料理人が北方に敗れることで改心する、というパターンが多く、登場人物に純粋な悪人はほぼ皆無である。

主人公の北方を初めとして、登場人物の名前は、幕末を中心に歴史上の著名人から取られていることが多い。

続編として「極食キング」がある。

作者简介

土山 しげる（つちやましげる、男性、1950年2月20日 - ）は、日本の漫画家。石川県金沢市出身。拓殖大学中退。

望月三起也のもとでアシスタントをしたのちに、『月刊少年チャンピオン』にて『ダラスの熱い日』でデビュー。海堂りゅう名義で雁屋哲原作で『銀河戦士アポロン（UFO戦士ダイアポロンの名でアニメ化）』の作画を手がける。その後は劇画誌に活躍の場を移し、原作付きで裏社会モノを多く手がけ、その中の代表作は『極道ステーキ』（原作：工藤かずや）。

1995年6月、『週刊漫画ゴラク』で単独作の『喧嘩ラーメン』を連載開始。料理を食べる表情やしぐさにこだわった描写、豪快かつナンセンス一歩手前ともいえるストーリーで新境地を開拓し、以降『食キング』、『喰いしん坊!』などグルメ漫画を数多く手がけている。

タイトルに「キング」を付けることにこだわりを持っており、『借王（シャッキング）』、『蛮王（バンキング）』、『食キング（ショッキング）』、『売キング（バイキング）』などの作品が存在する。ファンはこれらの作品を「キングシリーズ」と呼んでいるが、共通点はタイトルのみで、ストーリー上のつながりは無い。これらの作品の舞台は一部を除き大阪である事が多い。

他に2007年に『喰いしん坊!』が第36回日本漫画家協会賞優秀賞を受賞した。

2009年では、『ヤングキング』誌上で、師匠である望月三起也の『ワイルド7』トリビュート企画に参加。ヘボピーを主人公にした作品が掲載された。

また、作品の登場人物は歴史上実在した人物の名前に肖ったものが多い。

版权说明

本站所提供下载的PDF图书仅提供预览和简介，请支持正版图书。

更多资源请访问：www.tushu000.com